

環境省九州地方環境事務所沖縄奄美自然環境事務所さま

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
世界遺産地域包括的管理計画(改定案)への意見

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会

共同代表 阿部悦子

大谷正穂

事務局 松本宣崇

連絡先: 岡山県岡山市北区下中野 318-114 松本方

1. 「1. (1) 希少種への人為的影響の防止」項目に以下を追加する

3) 世界自然遺産地域、及び緩衝地帯の上空における航空機の飛来禁止

「世界自然遺産地域」、及び「緩衝地帯」の上空において航空機が飛行する合、墜落事故や物資の落下などに伴い、「世界自然遺産地域」に生息する多様な生物の生息に大きな影響を加えることが懸念される仮に墜落すれば火災や物理的な墜落地点の植生や地形に甚大な悪影響を与えることは必至である。

特に奄美大島においては在日米軍普天間基地所属の輸送機「オスプレイ」が奄美大島上空に「奄美低空飛行訓練ルート」を設定して日常的に低空飛行訓練が実施されている公算が高い(図1)

2016年12月13日、名護市安部に墜落したオスプレイの事故調査報告書には、「奄美LATルート」なる固有名詞が何度となく使われり、同報告書の添付資料20を基に、リムピースが作成したようなコースが推定される。この日、事故機は、東シナ海から湯湾岳を目標として奄美大島に侵入し、図1のラインに沿って反時計回りに2回飛行したことが推定されている。この時、相当広い範囲において事故機は、奄美大島の世界自然遺産地域、及び緩衝地帯の上空を飛行していた。このような飛行が今も継続している。仮に、墜落事故を起こした場合を想定すれば、極めて危険な状態が出現しかねない。

<意見>

上記を踏まえ、「世界自然遺産地域」、及び「緩衝地帯」上空における航空機の飛来を禁止すること。特に、奄美大島における米オスプレイの飛行につき、日米両政府で調整し、米軍が一方的に設定していると考えられる「奄美低空飛行訓練ルート」の撤回を求めること。

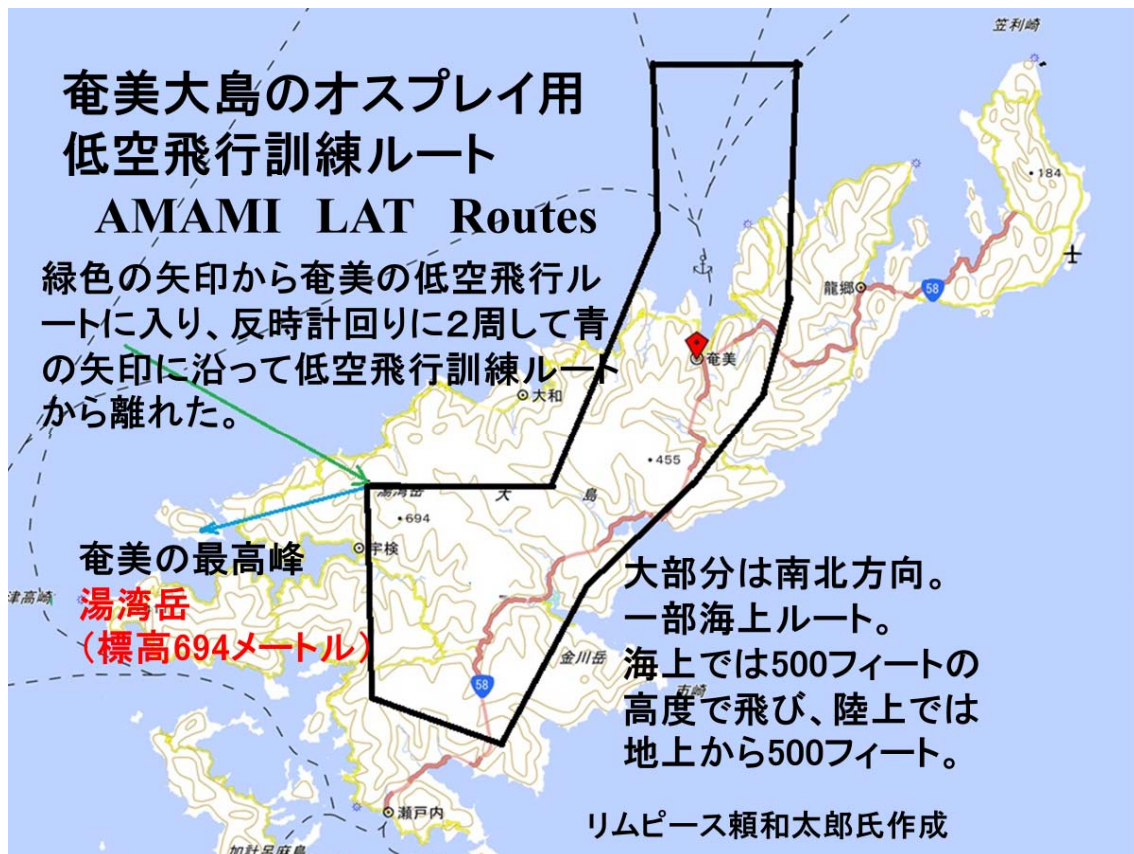


図1

文献 [ospreyabucrashreport180206](#)

[ospreyabucrashreport171024a](#)

2. 「1. (2) 外来種による影響の排除・低減」

管理目標: 新たな侵略的外来種の侵入を防ぐとともに、既に侵入・定着している侵略的外来種による影響が低減又は過去の影響が改善されていること(計画案15ページ)」

＜意見＞ 意図的な持ち込みだけでなく、物の流通に伴い侵略的外来生物が侵入することが懸念される。奄美から沖縄への石材、土砂の移動が計画されており、対策が講じられていない場合は認めない対応が必要である。

3. 「2. (5) 保護制度の適切な運用」

管理目標: 関係機関において、法令等に基づく保護制度が適切に運用されていること(計画案18ページ)」

＜意見＞

護岸造成による自然破壊が懸念されている嘉徳浜は世界遺産地域の周囲に設けられる「緩衝地帯」に位置付けられているが、自然海岸であり、保護すべき遺産とすべきである。また、嘉徳海岸は奄美群島国立公園内にあるが、規制の最も緩い「普通地域」に属している。特別保護区域に

指定して、護岸計画を見直すべきである。

加えて海岸域の保護のためには、流入する嘉徳川と海域との一体的な保全が不可欠である。ちなみに嘉徳川は奄美大島において唯一、人工物のない河川である。

ところが、嘉徳川の上流の山岳地帯には、陸上自衛隊瀬戸内駐屯地が年から開設されている。同基地は瀬戸内町節子の山岳地帯の頂上に近い一帯の自然林を伐採し、整地し、ミサイル連隊の諸施設を設置している。基地に降る雨水の多くが嘉徳川に流入し、嘉徳集落から海に流出している。同基地は、「世界自然遺産地域」やそこに生息する生物多様性の保全に大きな脅威となる位置関係にある。特に同駐屯地の北東部分は「世界自然遺産地域」と直接的に接しており、この区域は少なくとも「緩衝地帯」にせねばならないはずである。同基地のそのほかの区域も「緩衝地帯」になるべき位置関係にある。基地が設置されたのは 2019 年 3 月であり、世界自然遺産の登録が 2021 年 7 月であり、基地の運用開始の方が早いという事情を考慮するにしても、このような位置関係を放置してよいはずはない。そこで以下を付記すべきである。

嘉徳川と嘉徳海岸の保全のために、上流域に瀬戸内分屯地が設置されていることによる悪影響につき総合的に検討する。そもそも希少な自然環境の最上流において森林を伐採し、人工的な建造物を立ち並べていること自体の妥当性を検証する。上記を総合的に考慮すると、少なくとも北東部においては基地の一部を削減して「緩衝地帯」とすること、さらに言えば「世界自然遺産」をよりよくするために、瀬戸内駐屯地全体の閉鎖も含めて再検討すべきである。

以上